



# 二名公民館だより

公益財団法人  
奈良市生涯学習財団 二名公民館  
奈良市学園赤松町3684番地  
TEL&FAX 0742-46-9113  
発行人 館長 上田 善紀  
発行日 平成30年9月14日(金) 第7号



小学3年ながら、しっかりとノミを使って  
節を取る森村 優衣さん(二名小3年)



しっかり腰をすえて…、  
川人 友奈さん(青和小6年)

夏休み!! 一こども講座特集  
流しそうめん  
小学3年から6年までの小学生30  
人が8月3日(金)、流しそうめんを楽  
しました。  
1本の太竹を切って、まずは器づく  
り。10人ずつ3班に分かれて3人の  
指導者の方に教わりながら一人一人  
が竹を切ったりふしをノミで削った  
りする体験をしました。



かくして、総勢30人の流しそうめんが始まりました。

◎河村 優志くん(登美ヶ丘小5年) …「400円食べ放題」で、  
おなかいっぱい食べました。

◎葛西 えりかさん(青和小3年) …フルーツがおいしかったよ。  
のぎりの使い方がしょうずやとほめてもらいました。



■野末 菜央さん(青和小6年) …  
のぎりを使うのが難しかったけ  
ど優しく教えていただいたのでうれ  
しかったです。  
■兵庫 大晟くん(登美ヶ丘小6年)  
…竹きりから節取りまで協力し合  
ってできたことが楽しかった。  
■北神 徳貴くん・悠貴くん(二名小  
3年) …(帰ってお母さんにいっ  
たこと)すごく楽しかったよ。  
いろんなものが流れてきたよ。ゼ  
リーもあったよ。わらびもちのデ  
ザートまであったよ。おなかいっ  
ぱいでほんとにまんましくした。

## 紹介

### 采女祭うねまつり

猿沢池に入水した采女の悲話に  
まつわる行事が9月23日、24日、  
采女神社などで催されます。

そのおりに当館自主グループの  
指導者である中橋 恰也さんが、奉  
納神事の1つとして船上に上った  
語り公演をされます。24日(楸)  
18時頃(開始)です。

※問合せは奈良市観光協会



子どもたちの活動に やさしい  
まなざしを向ける 徳高 寿一さん

■指導していただいた徳高 寿一さん  
(学園緑ヶ丘) …年齢にかかわらず、  
ノミやのぎりを使うの子が多く驚  
きました。腰の入れ方でわかります。  
ほかの友だちができないことができ  
ることをうれしく思っているようで  
すね。みんな、のみこみがよくなし  
こかったです。

## 二名の樹樹

公民館を利用  
されている多  
くは、シニア・  
シルバー世代  
の方々です。こ  
の紙面でそれぞ  
れのグループの活動ぶり  
について紹介して  
いますが、実に生き  
きとしたみなさん  
の表情を、毎回のよう  
に拝見しています▼  
「野外活動研究家」  
というお立場の徳高  
寿一さんもしっかり  
と魅力を感じま  
す▼これまでの人  
生の中で醸成し蓄え  
てきたさまざまな技  
量やたしなみを持つ  
シニア・シルバー世  
代の方々とのコミュ  
ニケーションでき  
ることで、私もた  
くさんのことを吸  
収しています。こ  
れこそが、公  
民館職員  
の特権では  
ないかと思  
っています。







# 自主グループ紹介(7)



## 【英語で遊ぼう】

▽活動内容…幼児英語リトミック  
ク教室

▽活動日…第1・3・5水曜日  
▽メンバー…5名

■指導・一箭真理子さん…英語の歌や音楽に合わせてお母さんと子どもが身体を動かしてスキップをします。楽しみながらほんものの英語に触れることで英語の音声に対する感覚を身につけるとともに、親子で英語の絵本を読み合っから小学生までが対象です。



## 【ソレステレージャ奈良2002】

▽活動内容…少年サッカー  
■代表・塚本 茂さん…2名、登美ヶ丘地域を中心に活動している小中学生のチームです。合わせて150人、県内では最大規模のサッカークラブです。

公民館は保護者会などで使わせてもらっています。小学生には、サッカーのおもしろさを、中学生には心身を育みつつサッカー技術と戦術理解を、勝ち負けに優先させて指導しています。また、中学生が幼稚園を訪問して園児たちとサッカー遊びをしています。

公民館は保護者会などで使わせてもらっています。小学生には、サッカーのおもしろさを、中学生には心身を育みつつサッカー技術と戦術理解を、勝ち負けに優先させて指導しています。また、中学生が幼稚園を訪問して園児たちとサッカー遊びをしています。



## 【寒雷奈良二名句会】

▽活動内容…俳句  
▽活動日…第2金曜日  
▽メンバー…7名

■代表・森岡 暁子さん…加藤楸邨先生の結社「寒雷」の流れをくむ俳句会です。毎月1回集まって井浪立葉先生の指導のもと、互いの作品を評しあっています。遠慮なくいいコメントの多い句に仕上がります。それらの句は、俳句誌に投句しています。俳句にご関心のある方、ぜひのぞいてみてください。

### 今月の一句

石投げて心からつぼ白木槿 立葉

鬼灯を鳴らし少女の夢想は 芳子

無縁塚土塊となりすさまじき 艶子

溪底よりの法師蟬の声のほろろ 尚子

秋明菊散り重なりし白さかな 艶子

もの影伸ばし釣瓶落としかな

式年造替終へし大社に秋陽射す 尚子

秋晴や本殿に朱の甍の 静代

朝の塵子かまきりを拾ひ上げ 静代

生駒嶺の暮れなつむ空秋燕 かの子

離れ家へ紅葉明かりを抜けて来し かの子

秋霖の止む気配して軒雀

わが視野のわが歩に添ひて赤とんぼ 暁子

桐一葉地に着くまでを怠らぬ



## 二名ギャラリー

雅・絵手紙クラブ



㊤石本るみ子さん(二名) ㊦高澤けいちゃん

㊧山村真紀子さん(二名) ㊨奥村朋子さん ㊩松本寿賀子さん(学園赤松町)

